

No.49	2019/12/7	<p>1. SparView No49</p> <p>1)都市まるごと3次元 ダブリンもヘルシンキ、シンガポールに次ぐ 東京もいずれ近いうちに・・・</p> <p>2)ドローン安全世界標準ISO発行</p> <p>3)殺人ドローン 開発禁止の動き 不可能と言いたくない、 どうすれば実現できるか??</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N49_DroneSafetyISO.pdf</p>
No.48	2019/11/30	<p>1. SparView No48</p> <p>1)犬型ロボット“Spot” 事故現場などの人が近づけないところで活躍。</p> <p>2)ハンドヘルド3Dスキャナー SLAMベースのライダーの登場で用途拡大</p> <p>3)日本のドローン・ロードマップ 大前創希氏のドローンファンド50億円</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N48_HandheldScanner.pdf</p>
No.47	2019/11/23	<p>1. SparView No47</p> <p>1) 建設業界のデジタル革新なかなか進まない 技術の問題ではなくて、社会の問題</p> <p>2) 犬型現場ロボット 世界あちこちで開発されているのでは</p> <p>3) ドローンによるプライバシー問題など さすが米国、本格的な取組始まる</p> <p>4) 仙台市 津波警報をドローンで 緊急周知徹底には効果大では</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N47_privacy.pdf</p>
No.46	2019/11/16	<p>1. SparView No46</p> <p>1)HoloLens 2到来 MRの実務的な使われ方に大きく近づいた</p> <p>2)2D画像から3D物体の認識 確かに人間は3D物体を読み取っているの AIでもできそう。</p> <p>3)電波どうしの戦いが始まっている。 有機体(生物も精密機械も)、神経がやられると生きていけない。</p> <p>4)ソーラエネルギーで無限に飛び続けるドローン 研究開発は、盛んにおこなわれてきたが、いよいよ実現か、</p> <p>5)電動マルチコプターで70分飛行。 どんな電池なのだろう?</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N46_HoloLens2.pdf</p>
No.45	2019/11/10	<p>1. SparView No45</p> <p>1)米国内務省: DJIドローン使用禁止 Commercial UAV 世界大会でも緊急重要テーマとして議論活発</p> <p>2)ドローン対抗技術競技大会(ヨーロッパ) 日本でも、こうした競技会開いて欲しい</p> <p>3)歴史遺産の損傷修復にレーザスキャン大活躍 首里城のデータは採取してあったらどうか?</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N45_CounterDrone.pdf</p>

No.44	2019/11/2	<p>1. SparView No44</p> <p>1) スキャンではなくて、いきなり面で3次元データが取得できる「フラッシュライダー」技術開発が進み利用できる範囲も増えてくるだろう。</p> <p>2) 民需にも重量級(ペイロード数百kg～数トン)が登場してきた。</p> <p>3) お気づきの通り、この業界は「連携、提携」のニュースがひっきりなし、である。競合他社とも「右手で殴り合い、左手で握手」すべきである。日本の商習慣からすると抵抗があろうが、要はグローバルに生き残っていくために何が重要か、で判断せねばならない。</p> <p>4) 米中: 中国製ドローン使用禁止が非軍事領域にも。今の中国の強圧的な覇権主義、機密主義が変わらない限りこの流れは変わらないであろう。経済原則とは別の次元の問題である。非中国製に置き換わっていくには数年かかるであろうが、大量に売れ始めれば、当然技術開発も進み、価格も下がっていく。日本は、中国に「品格のある大国」に向かうべく、積極的に働きかけ、かつ支援していくべきである。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N44_NoChina.pdf</p>
No.43	2019/10/26	<p>1. SparView No43</p> <p>1) 建設業などVR/AR活用進む 人間とコンピュータとの関係変革、右脳刺激?</p> <p>2) Bentleyなど、「都市まるごと3次元」さらに前進</p> <p>3) Drone Responders 公共安全へのドローン活用加速 災害対応、日本は国をあげて(予算をつけて)強化かつ世界貢献すべき!</p> <p>4) 日立: 空中無線充電 注目</p> <p>5) 空中タクシー: シンガポールがドバイを追い越した?</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N43_VRARforConstruction.pdf</p>
No.42	2019/10/20	<p>1. SparView No42</p> <p>1) 日本のDrone Fund: 多くのドローン事業を支援 Drone Fund (大前創希氏) 日本にもこんなすごい人がいるのです。世界にも新風を期待。</p> <p>2) SOARIZON: 世界の動向をみたドローン飛行管理 情報発信力と求心力... さすがです</p> <p>3) AIドローンレース どんな競争になるのか、興味津々。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N42_DroneFund.pdf</p>
No.41	2019/10/12	<p>1. SparView No41</p> <p>1) INTERGEO: レーザスキャナーの出展“統合化(integration)”へ、これまでもこの動きはあったが、業界全体として 顕著に動き始めた。次にやってくるのが、さらに進んだ“融合化(fusion)”であろう。</p> <p>2) レーザスキャンの技術革新、弱点であった“光り物”も。小型高精度には伸びそう。</p> <p>3) ドローン管制システム(UTM)とリモートID 基盤開発とトライ、大詰めに。実用化近い?</p> <p>4) 「ドローンで攻撃」誰でも簡単に取り組める。「その対抗」には高度な技術必要。ドローンマーケットに匹敵する大きなビジネスになる可能性あり。</p> <p>5) ドローンタクシー開発。エアバスが中国に肉薄、米国は一步遅れ 日本は周回遅れ</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N41_CounterDrone.pdf</p> <p>2. ただいま 台風19号 横浜通過中 西村氏、事後対策のために奮闘しておられます。</p> <p>http://www.sparj.com/event/Nishimura1910.pdf</p>

No.40	2019/10/5	<p>1. SparView No40</p> <p>1)材質まで見分ける“3D Semantic Camera” ハイパースペクトルは、農作物のセンサーに使われており、別に目新しいものではないが、圧倒的にコストダウンできるなら、用途が急拡大しそう。DJIのP4も。</p> <p>2)Matterport : AI付きスマホで3D計測 3次元大衆化の原動力、広がりが楽しみ</p> <p>3)CommercaillUAV Newsの編集長も女性に さすが米国</p> <p>4)DJIが固定翼ドローンにも進出？ 初耳です。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N40_SemanticCamera.pdf</p>
No.39	2019/9/28	<p>1. SparView No.39</p> <p>1)City まるごと3次元(室内外含む)ARで評価、いよいよ本格的になってきた。</p> <p>2)企業のビジネス基幹システムSAPがCityモデルに登場 初めての動き、Oracleも。いささか驚き。</p> <p>3)3D計測とAI、まずは業務フローに、データ処理にはこれからか？ しかし車の自動運転は先行している。</p> <p>4)ドローンのリモートID制度化、米国やっと実現に。UTM含めヨーロッパのほうが進んでいる。</p> <p>5)公共安全に中国製ドローン、機密漏洩懸念、難しい問題。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N39_CityWhole3D.pdf</p>
add	2019/9/26	<p>(臨時)プラント3次元計測展示案内 プラントの3次元計測適用 奔流に ! 展示・無料</p> <p>http://www.sparj.com/SparP/Spar2019P/SPAR2019PEX.pdf</p>
No.38	2019/9/21	<p>1. Sparview No.38</p> <p>1)VR(バーチャルリアリティ)で設計ミス無くす。 VRの表現力(エンジニアの想像力、発想をいかに引き出すか)が重要。単にリアル性を高めることだけではない。</p> <p>2)3Dデータから、事物の認識は後処理ソフトの役割であったが、スキャンと同時に現場で・・・この流れは加速しよう。</p> <p>3)点群芸術。人間の感性にどう働きかけるかが主題。左脳より右脳を。エンジニアも、大いに学ぶべし。</p> <p>4)DRONERESPONDERS国際諮問機関設置 ドローンによる救済。日本も積極的に貢献すべき。</p> <p>5)航空機産業。これまで米国が圧倒的な経済力と指導力を担ってきたが、エアバスのようなヨーロッパのポジションが高まりつつある。とくに無人機の世界では、その動きが目立つように感じる。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N38_PointCloudArt.pdf</p> <p>2. 建築点群フォーラム APCA (Architecture Point Cloud Association) アプカ イブニングサロン 9/24(火) 夕方 大井町、きゅりあん 申し込み100名突破、大盛況! 会議は無料 気軽にお立ち寄りください。 当日受付も可能ですが、名札を作る関係から事前登録をお勧めします。河村までメールください。 http://www.sparj.com/event/APCA0924.pdf</p> <p>3. 次世代森林事業 3次元計測とドローンの活用の今後着目すべき分野のひとつとして 森林管理を取り上げています。。事業性と合わせて防災の意味からも極めて重要です。計測・評価・実行計画をたてた後は、添付のような ロボットが活躍することを期待します。西戸俊介氏(日建設計)からご紹介。 http://www.sparj.com/event/WoodControl.pdf</p>

No.37	2019/9/14	<p>1.SparView Vol17 No.37</p> <p>1)建設進捗を作業員がヘルメットにつけたカメラ画像から、どうやってAIが学習するのだろうか？その手法が発見できれば、用途が無限にありそう。人間は学習できるのだからAIにできないはずはない？</p> <p>2)プラント設備へのドローン活用も、急速に広がりそう。</p> <p>3)軽量省電力のピエゾ(圧電)効果で、ドローンの駆動部、確かにさまざまな出番がありそう。</p> <p>4)“Just Culture”ドローン安全の社会風土醸成。大いに学ぶ点がありそう。さすがヨーロッパの理念や哲学。</p> <p>5)攻めるのも守るのも、ドローンに出番。嫌な動きだが目を背けるわけにはいかない。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N37_SiteImageToAI.pdf</p> <p>2.セミナー「3次元計測の最新技術と効果的な活用法とそのポイント」今年も日本テクノセンター(JTC)で10/24に行います。本分野のチームに新たに加わられた方への教育などにもご利用ください。</p> <p>http://www.sparj.com/presen/JTCseminar2019.pdf</p>
add	2019/9/10	<p>SPARJと連携している 精密工学会・点群研究会主催、恒例の講習会が9/20(金)開催されます。8/24 送付と同じ講習会ですが、一部案内文章が変わっています。</p> <p>http://www.sparj.com/event/PointCloudSeminar2019Rev1.pdf</p>
add	2019/9/9	<p>SPARJアンケート結果 & 建築点群フォーラム案内ビデオ</p> <p>1. SPARJ今後の活動アンケート ご協力ありがとうございました。</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/SPARJenquetResult.pdf</p> <p>2. 建築点群フォーラム(9/24)プロモーション動画</p> <p>https://youtu.be/NbU0-rxO9QQ</p>
No.36	2019/9/7	<p>1.SparView Vol.17 No.36</p> <p>1)ToF(time of flight)ToFカメラ すでに多くの製品が実用化されているようです。一回の撮影で100万画素の画像が得られ、将来その一点一点の奥行情報が正確に得られれば、そのまま3次元点群データになります。</p> <p>2)極小のライダーチップ、大きな可能性あり。</p> <p>3)AutodeskとEsriの親密度が高まる。巨人同士でも飛躍のためには手をつなぎます。</p> <p>4)廃炉に向けた3Dマッピングロボット、日本も最先端をいってるものと信じます。</p> <p>5)公共安全・災害調査復旧へのドローン活用話題急増、全世界共通。</p> <p>6)テラドローン「世界一のサービスプロバイダになる」と宣言してまだ2、3年。現実味を帯びてきました。驚異的な早さ。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N36_ToFcamera.pdf</p>
No.35	2019/9/1	<p>1.SparView Vol.17 No.35</p> <p>1)スタンドアロンVRで、建設現場でのVRの利用が進む。</p> <p>2)データ標準IFCがMEP(建築設備系)にも適用</p> <p>3)パイプラインのドローン検査:ありふれたテーマであるが本格的全面活用となると、けっこう課題も多そう。</p> <p>4)ドローンサミット:普及には社会の認知(Public perception)が必須。</p> <p>5)DJIの市場寡占に対抗・頑張してほしい</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N35_StandAloneVR.pdf</p>

add	2019/8/28	<p>いつもSparViewを受けていただき、ありがとうございます。 3次元活用分野も、次々と広がってきたようです。 極めて簡単な(2~3分?)アンケートです。ぜひ全員のかたからお答えいただきたく...</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/SPARJ_ABCD.pdf</p>
No.34	2019/8/24	<p>1.SparView Vol.17 No.34</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 点群のままAR/VRにつなぐ競争が盛んになってきた。 操作性とスピードで勝負が決まりそう。 2) サムソンGalaxyスマホで3Dスキャン 3Dスキャン底辺層の拡大に 3) 災害・救援へのドローン活用話題急増 Drones for Goodの運動もそのひとつ。 日本からの参画も望まれる。 4) アルミ粉末で新エネルギー 商業ベースに広がるといいですね、 <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N34_DronesForGood.pdf</p> <p>2.SPARJと連携している 精密工学会・点群研究会 主催、恒例の講習会が9/20(金)開催されます。 http://www.sparj.com/event/PointCloudSeminar2019.pdf</p>
add	2019/8/20	<p>1. Sparニュース番外 増え続けるデータ量対策 http://www.sparj.com/report/Signiant_MediaShuttle.pdf</p> <p>2. 国交省「全ドローンの飛行計画、情報共有サイトに登録義務化」 https://www.sankei.com/affairs/news/190819/afr1908190018-n1.htm</p> <p>3. 建築点群フォーラムイブニングサロン(9/24) プレゼン概要 http://www.sparj.com/event/BigPCsalonPresen.pdf</p>
No.33	2019/8/17	<p>1.SparView Vol.17 No.33</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)現場用タブレット 個別機能の開発は飽和に達し、耐久性や接続性 のような本格運用に入ったときに現場で困っている 問題チューニング競争の段階に入ってきた。 2)3D表示のリアル性を高めるには人手の作業が求めら れるが、これこそAIの出番であろう。 3)iPadで3Dスキャン:ここまで低価格に\$399 4)ドローンの情報セキュリティ、中国問題だけでなく 多面的な検討・覚悟が必要。 5)空飛ぶ円盤のようなドローン 超高速飛行も <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N33_FieldTablet.pdf</p>

No.32	2019/8/11	<p>1.SparView Vol.17 No.32 1)FAA Part 107の登場で、ドローンビジネスが各分野で一挙に花が咲き始めたが、分野ごとに状況は大きく異なる。 2)軍事用ドローン: 中国が米国製の模倣で廉価版を開発し世界のマーケットに進出してきているが、品質は簡単には模倣できないようだ、 3)全世界で災害多発、捜索・救助用ドローン開発盛ん「被災先進国」として、この分野だけは日本がリードしたい。ハードだけでなく、ソフト(狭い意味ではなくて、社会の仕組みを含めた)に力点 4)テラドローン: 本丸に攻め込む と、3年前、徳重社長の「ドローンサービスで世界トップになる」と宣言し、国内よりも海外進出を強化、まずは開発途上国を次々と攻略し、名声を高め、今回世界最大級の石油地帯テキサスに会社設立。そのスピード感に敬服。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N32_Part107Impact.pdf</p> <p>2.第1回建築点群フォーラム(2020-01-23)開催に向けてのイブニングサロン(2019-09-24 夕方18:30~) 講演会ではありません。この分野、ようやくこれから適用が始まろうとしている段階。強い関心をお持ちの方が、思いを述べあい、自由な意見交換と交流を行う場です。(参加無料) 大井町の駅前「きゅりあん」会社の帰りに寄ってみてください。 「9/24イブニングサロン参加」として、会社名、部署名、氏名、アドレスを河村までメールください。</p> <p>http://www.sparj.com/event/BlgPcForumRev1.pdf</p>
No.31	2019/8/3	<p>1.SparView Vol.17 No.31 1)火炎放射ドローン ちょっと、おっかないけれど農業などに役立ちそう 2)DJIの新FPVゴーグル さすがDJI、映画のロケ現場も変わるかも 3)無人ジャイロコプター 重量物搬送のニーズに応える 4)スイス: 事故でドローン配送保留 世界で最も進んでいるスイスでさえ、完全な安全にはまだ課題が残る。 5)MXSアクロバット飛行 こんな曲芸までできるのです。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N31_DjiFpvGoggle.pdf</p>
No.30	2019/7/27	<p>1.SparView Vol.17 No.30 1)既存の異なるシステムの統合・融合で新サービスがトレンド トリンプルとSiteVisionもその一例 2)3年ぐらい前に話題となったが消えていったMagic Leap ホロレンスとの統合などで蘇ってきた。 3)フォトとライダーデータ、後処理ソフトで統合ではなく センサーレベルで統合 4)こんな小さなライダーチップ 5)FAAドローンルール: ホビー用にも、利用すそ野が広がりそう 6)デュアルプロペラでドローン飛行時間2倍に..本当か?</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N30_MagicLeap.pdf</p> <p>2.建築点群フォーラム・イブニングサロン 9/24(火)18:15~ 大井町きゅりあん 参加募集(無料) 「9/24イブニングサロン参加」として、会社名、部署名、氏名、アドレスを河村までメールください。</p> <p>http://www.sparj.com/event/BlgPcForumRev1.pdf</p>

No.29	2019/7/20	<p>1.SparView Vol.17 No.29</p> <p>1)大規模のフォトとライダーのデータ統合 開発競争が続くそう。</p> <p>2)自走車の大量生産と社会への浸透も中国が先行。 日本は、国民性から大幅に遅れをとるのはやむを得ない。 別の切り口から攻めるべき</p> <p>3)BBC災害ドキュメンタリーに非難轟轟 議論が沸き起こったことは、良いことだ</p> <p>4)中国製ドローン、米軍では使用禁止。しかし同じく セキュリティにつながる警察や消防では認めざるを得ない。 経済の力は偉大なり。</p> <p>5)NTT西日本の子会社「ジャパン・インフラ・ウェイマーク」 AIによるインフラ点検サービス(芝田 巧 社長)</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N29_Photo&LidarIntegrate.pdf</p>
add	2019/7/16	<p>先般SPAR2019J「第15.回3次元計測フォーラム」へのご支援、ありがとうございました。 550人の参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。 下記結果報告します；</p> <p>1)参加企業一覧表 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/SPAR2019J_CompanyTable.pdf</p> <p>2)アンケート結果 ・一覧表 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/SPAR2019J_EnquetTable.pdf ・コメント http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/SPAR2019J_EnquetComments.pdf</p> <p>3)講演者発表スライド(順次掲載追加中)プログラムから； http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/program.pdf</p> <p>4)出展社TSプレゼンスライド(順次掲載追加中)展示配置図から； http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/FloorExhibit&TS/FloorPlan.pdf</p>
No.28	2019/7/14	<p>1.SparView Vol.17 No.28</p> <p>1)SPAR3D 新編集長 紹介 前任者からの交替で、数週間空白がありましたが、Carla Lauter氏が活動を開始しました。</p> <p>2)大規模点群の操作問題 ・Vercator cloud が登場 ・Undet:ラスターにしてRevitモデルへ</p> <p>3)ゲームエンジンUnityの操作性がエンジニアリングに 何度も登場する話題</p> <p>4)フランク・ロイド・ライト 氏の建築 素晴らしい、の一言</p> <p>5)FEMA 災害救済・復旧にライダー 日本が最も力を入れるべきところ</p> <p>6)ソーラパワーのマイクロドローン 最先端技術は昆虫から</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N28_CarlaLauter.pdf</p>
No.27	2019/7/6	<p>1.SparView Vol.17 No.27</p> <p>1)フロスト&サリバン 企業の成長力を評価するユニークな調査会社。技術動向、市場動向に相当に深い知見と洞察力がないとできない注目に値する会社です。</p> <p>2)UTM(空の交通管理システム) 激しい技術革新とマーケットの立ち上げに、自動運転システム開発競争乱立から大手数社に絞られてきたように、UTMについても集約の段階に移ろうとしている。Unifyにも頑張ってもらいたいものだ。</p> <p>3)徳重氏(テラドローン社長)の日本人離れした先見性、グローバルな行動力に感服します。レバレッジ効果の典型ですね。</p> <p>4)街全体のドローンパトロールが新ビジネスに。世界では十分にビジネスが成り立ちそう。日本でもいずれは成り立つ時が来るかもしれない。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N27_TownDronePatrol.pdf</p> <p>2. SPAR2019J講演スライド一部掲載開始 http://www.sparj.com//SparJ/Spar2019J/program.pdf</p>

add	2019/7/4	<p>1. 建築点群フォーラム(チラシ改訂 SPARJ共催) 本番:2020-01-23 大井町「きゅりあん」 発起サロン:2019-09-24 同上 http://www.sparj.com/event/BlgPcForumRev1.pdf</p> <p>2. 建築・土木はこう変わる～ロボット、AIによる生産性向上戦略 友人 家入龍太氏(建築ITジャーナリスト)から案内をいただきました。「ポスト五輪」の建築・土木はこう変わる～ロボット、AIによる生産性向上戦略～ http://www.sparj.com/event/Ieiri201907.pdf</p> <p>3. 点群処理ソフトとしてポピュラーなPix4Dの日本人 http://www.sparj.com/event/Pix4D201907.pdf</p>
No.26	2019/6/29	<p>1.SparView Vol.17 No.26 1)ドローンサービスビジネスは、単なる計測サービスだけでは、競争に勝てない。顧客の業務フロー革新への提言できる深い知見が求められる。 2)事業提携、連携の話題が非常に多い。たとえ大手といえども一社単独では、変革のスピードについていけない。 3)楽天と西友:横須賀・猿島へのドローン配送 適用好事例であろう。 4)世界最大のパリ航空ショー2019 もあり、新製品発表が活発。やはり軍事ニュースが多い。世情を反映してか、莫大なお金が動いている様子。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N26_DroneService.pdf</p> <p>2. SPAR2019J盛会にて終了。今後順次発表資料ウェブ掲載予定。</p>
No.25	2019/6/21	<p>1.SparView Vol.17 No.25 1) 空の交通管理にはリモートIDが必須であり、関連技術の開発が活発化してきた。 2)人乗りドローン(エアタクシーなど)の実現は相当先になる、と言われながら開発競争は激しさを増す。 3)しかしボーイングでさえ、失敗・墜落の試練 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N25_RemoteID.pdf</p> <p>2. 第15回3次元計測フォーラム SPAR2019J 6/25,26 くつろいだ雰囲気での人脈形成が主目的。ノーネクタイ軽装をお勧めします。 3. 土木CPDS証明ご希望の方、登録証をご持参ください。 4. モーターパラグライダーの 西村氏(空撮ジャパン) SPAR2019J に来られます。コンタクトご希望の方、この機会をどうぞ。 nishimura@kuusatu-japan.jp 、090-4892-0545</p>
No.24	2019/6/16	<p>1.SparView Vol.17 No.24 1)テラドローン:ドローン・サービスプロバイダとして世界No.1を目指す。声援を送ります。 2)ハードやソフトの価値よりも、今後はデータの価値が市場を支配する、と言われて久しい。3Dデータは誰のものか、議論が活発になってくるであろう。 3)Unityが Autodesk Revitに ゲームエンジンの威力、いよいよエンジニアリングの世界に普及 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N24_TerraDrone.pdf</p>

No.23	2019/6/9	<p>1.SparView Vol.17 No.23 1)ドローン開拓時代は終わった？ 熱狂的な「西部開拓時代“Wild West”」は終わって 正常な地道・着実な開発の時代にはいった。 2)リモートIDの必要性は、万人が認めるところ 具体化の試み開発盛ん 3)北海道の會澤高圧コンクリート(株)世界ニュースに登場 4)昆虫に擬えたナドローンの開発も増えてきた 5)ボーイングの子会社で大手ドローンメーカーInsitu できえ、 競争激化で事業縮小、過酷なマーケットです。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N23_WildWestEnd.pdf</p> <p>2.建築点群フォーラム企画 本番:2020-01-23 大井町「きゅりあん」 発起サロン:2019-09-24 同上 http://www.sparj.com/event/BlgPcForum.pdf</p>
No.22	2019/6/1	<p>1.SparView Vol.17 No.22 1){デジタルツイン(双子)}なる言葉が日本でも使われるようになってきた。 つまり現実の世界と仮想の世界を1:1で対応させることで、さまざまな検討やシミュレーションができる。 2)ペントレーとトプコン+インテルのような業界大手が連携する動きが顕著に。自動車業界だけではなくのですね。 3)ドローンを自社の業務にどう取り入れるのか、多くの企業で試みが始まっている。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N22_DigitalTwin.pdf</p> <p>2. SPAR2019J 第15回3次元計測フォーラム 6/25,26 川崎市産業振興会館, 講演、展示概要、参加受付 展示レイアウト、出展概要、講演スライド(一部)追加 http://www.sparj.com から</p>
No.21	2019/5/29	<p>1.SparView Vol.17 No.21 1)SPAR3D Expo 2019 アナハイム開催された(5/21-23) 展示概要、講演プログラム一覧リンク掲載 個別詳細は、今後逐次紹介していく予定 2)ドローン配送への取り組み話題急増 3)ホビー用ドローン制約が強化、自由に 遊べるものではなくなる。当然の成り行き</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N21_SPAR3D2019.pdf</p> <p>2. SPAR2019J 第15回3次元計測フォーラム 6/25,26 川崎市産業振興会館, 講演、展示概要、参加受付 http://www.sparj.com から</p>
No.20	2019/5/18	<p>1.SparView Vol.17 No.20 1)ライダーorレーダ 自動運転車にはライダーが必須のような言われかたをしてきたが、大手のテスラはレーダで実現している。 AIの組み入れ方のほうが鍵になるのでは.. 2)地下マッピング 東京都の無電柱化と合わせて、地下統合3Dモデルとして蓄積していくべき 3)分野ごとのドローンレポート発行(Spar Point Grp) 4)超巨大積乱雲(Supercell)観測用のレーダとドローン 日本からもこのプロジェクトに参画してもらいたい 5)ニューヨークのBVLOS空路開設 運用成否が楽しみ 6)頭上安全飛行の要はパラシュート 7)AI付きハチドリロボット さすがパデュー大学</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N20_LidarOrRadar.pdf</p>

No.19	2019/5/11	<p>1.SparView Vol.17 No19 1)ノートルダム寺院の修復に、3次元スキャンデータ大活躍期待 2)5Gの到来で、3次元ライブマッピングの世界が変わる 3)XPONENTIAL 2019での大きな話題; ドローン自動継続運転 (AtlasNEST)と産業設備検査用 (Elios 2) 4)世相を反映してか、軍事関係のニュース増加・・・無気味？</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N19_NotreDame.pdf</p>
No.18	2019/5/3	<p>1.SparView Vol.17 No18 1)ドローンが制約の多い地下でも威力発揮 SLAM(自己位置認識)技術の急速な進歩の賜物 2)ドローン世界最大のイベントXponential 2019で新製品</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N18_SLAMjump.pdf</p> <p>2.SPAR2019J「第15回3次元計測フォーラム」 プログラムと発表概要掲載開始(順次追加中)</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/Spar2019J/program.pdf</p> <p>3.第2回ドローンビジネス最新トレンドカンファレンス 小池良次さんから案内いただきました。</p> <p>http://www.sparj.com/event/DroneNextTrend2.pdf</p> <p>4.SPAR3D Expo2019 アナハイム Japan Meeting を開催します。May 21(Tue) 19:00- 20:00 参加の方、お知らせください。</p>
No.17	2019/4/27	<p>1.SparView Vol.17 No17 1)VRMRヘッドセット花盛り 2)FAA米国初の無人機空路開設 3)ドローン保険の変貌 オンデマンド型が普及の主流になるか？ 4)ドローンによるプライバシー侵害問題 だけでなく、運転者のプライバシーも心配 5)通信基地としてのHAPS(高高度疑似衛星)開発加速、 世界市場にソフトバンク存在感増す。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N17VRMRheadset.pdf</p>
No.16	2019/4/19	<p>1.SparView Vol.17 No16 1)リアルタイムSLAM(自己位置認識)技術がさらに進化 2)リスク分析に基づいてドローンの安全性担保。 やっとな、まともなアプローチがされるようになった。 3)空域の安全確保には、リモートIDが必須、開発が急がれる</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N16Risk&remoteID.pdf</p> <p>2.Lumion Forum 2019の案内 第4次産業革命にも貢献？</p> <p>http://www.sparj.com/event/LumionForum2019.pdf</p>
No.15	2019/4/13	<p>1.SparView Vol.17 No15 1)視界外飛行:FAA 航空機と同じ基準で空路認可 2)DroneClash大会:ドローン対抗競争(戦争の前哨戦?) 3)サイバードッグ:日本でも東北大で開発しています。 危険に立ち向かう忠実なワンちゃんに感謝</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N15BVLOSairway.pdf</p>

No.14	2019/4/6	<p>1.SparView Vol.17 No14 1)この5年での大きな動き (SparView編集長交替) ・スキャナー低価格化 ・自動化とAI ・車の自動運転開発のインパクト ・インドアマッピング 2)インテグレーションではなくてデータフュージョンへ 3)三菱日立パワーシステムズ: 設備内部もドローンで計測</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N14EditorChange.pdf</p> <p>2. 三浦梅園に学ぶ SPAR2019J 6/25 イブニングサロンにて紹介 http://www.sparj.com/event/MiuraBaian.pdf</p> <p>3.全空間画像計測シンポジウム 4/19(金) 大阪 4Dセンサー森本氏からの案内 http://www.sparj.com/event/GazoSympo0419.pdf</p>
No.13	2019/3/29	<p>1.SparView Vol.17 No13 1)ハンドヘルドライダーが精度で勝てる場合も 2)Vuzixスマートグラス 理想形に近づいてきた。この分野の開発競争 拍車がかかるであろう。 3)ドローンメーカー競争に負けて撤退続く。 例えば会社は消えても、人は次の挑戦可能。 米国の強みであろう。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N13SmartGlass.pdf</p>
No.12	2019/3/23	<p>1.SparView Vol.17 No12 1)ライダーの選定には後処理を考えると「精度:precision」よりも「正確度:accuracy」のほうが重要。 2)BIM向け VRIにドローンの効用大 3)テレプレゼンス機能で視界外飛行の安全確保</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N12accuracy.pdf</p>
No.11	2019/3/17	<p>1.SparView Vol.17 No11 1)GoogleWaymo: 新ライダー発表 車の自動運転開発の雄、Googleが大量生産・低価格の ライダー発表。台風の目となるか？ 2)MicroVision: 小型MEMSライダー、機械学習機能も 3)災害地での公共安全確保のためのドローン: ロス会議 日本でも、この種の会議・大会 待たれる。 4)Aerodyne: 日本から投資取得(大前創希氏)</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N11GoogleWaymo.pdf</p>
No.10	2019/3/8	<p>1.SparView Vol.17 No10 1) 第2次キネクトショック? 数年前、3次元計測の世界に一大旋風を巻き起こした マイクロソフトのKinect (XBOX)が、装い新たに登場 2)3次元のAI処理、広がり始めた。ベントレーなど 3)ドローンによる広域放射線測定 外国に言われなくても、日本は当事国として本腰を入れて 取り組んでいるはず 4)Intelligent Energy(英国) 燃料電池も、ここまで小型軽量になると、ドローンユーザ にとって朗報。来週のJapan Drone 2019 に出展</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N10KinectShock2.pdf</p> <p>2.KDDI スマートドローン・プラットフォーム体制整う http://smartdrone.kddi.com/ とくに災害地調査や救助に期待したいですね。ドローンは厳しい環境に対応できるプロドローン(名古屋、河野雅一社長)が使われています。</p>

No.9	2019/3/2	<p>1.SparView Vol.17 No9 1)マイクロソフトのホロレンズ2業務用 MR着用の違和感減少、実務性大きく前進。 2)とくにヨーロッパ、空路交通網の開発活発化 3)日本も物流・配送にむけ、楽天など準備進む</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewV17N09usefulMR.pdf</p>
No.8	2019/2/23	<p>SparView Vol.17 No8 1) 3D画像の機械学習 建物の容積を出す程度で、それほど高度なAI ではなさそうだが、今後進歩していく可能性あり。 2) アマゾンが米国3D地理情報無償サービス 確かに国の予算は節減できるし、ユーザとしての 利便性は高まるが、データ独占に一抹の不安。 3) 異文化の人との交流で創造性 摩擦や葛藤も起こるが、それを乗り越えて新しい 発想や創造性を高めたい。 4) フォトグラメトリーのビッグデータ処理 今年、飛躍的な進歩がありそう。 5) テラドローン:世界で活躍してます。</p> <p>http://www.sparj.com/WAcnt/SV17N083DmachineLearning.html</p>
No.7	2019/2/15	<p>1.SparView Vol.17 No7 1)データ量の爆発が大きな課題、AIの利用が避けられない。 2)視界外飛行(BVLOS)実施例が増えてきました。 3)たかが、はんだ付け、馬鹿にはいけないようです。</p> <p>http://www.sparj.com/WAcnt/SV17N07Bvlos&Handa.html</p> <p>2.「無人航空機の日視外飛行の実現に向けた 福島ロボットテストフィールドにおける実証 実験成功」 https://jutm-imgtransuv.org/work_data/20190208_newsrelease_jutm.pdf</p> <p>JUIDAを中心とするドローン関連主団体が主催 Drone配送実現に向けての、貴重な前進</p> <p>3.陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)利用シンポジウム(3/11 無料) 参加申込 http://www.pco-prime.com/2019alos2/index.html</p> <p>4.UAV 3D計測&活用フォーラム(3/14)会議参加受付中 http://www.sparj.com/WAcnt/UAV3D2019page1to3.html</p>
No.6	2019/2/10	<p>1.SparView Vol.17 No6 1)3次元データがあまりにも簡単に取れ過ぎることが 大きな問題に。AIの出番であろうが、そのAIに どうつながかは、やはり人間の仕事。 2)動物がやっているように、必要な情報だけに神経を 集中する仕組みが登場してくるかも.. 3)ナドローンは軍事用が先行しているが、産業用 としても用途があるのでは。</p> <p>http://www.sparj.com/WAcnt/SV17N06BigAI.html</p> <p>2.UAV 3D計測&活用フォーラム(3/14) 近づいてきました。会議参加申し込み お早めどうぞ http://www.sparj.com/WAcnt/UAV3D2019page1to3.html</p>
No.5	2019/2/1	<p>SparView Vol.17 No.5 1) Allvision 大規模点群処理に福音? 本当ならありがたいですね。きっと適した分野があるのでしょう。 2)Hovermap GPS不要で自動マッピング。話題をよびそう。 3)空の交通管理、ヨーロッパでの開発活発。</p> <p>http://www.sparj.com/WAcnt/SV17N05Hovermap.html</p>

No.4	2019/1/31	<p>1.SparView Vol.17 No.4 1)またしても低価格ライダー新登場 Livox:\$600 2)FAA:ついに頭上飛行・視界外飛行認可 (先週と同じニュースだが別報告) 3)ドローン配送では、過疎地への医療品が先行 リーズナブルです。 http://www.sparj.com/WAcnt/SV17N04Livox.html</p> <p>2. 第4回UAV3D計測・活用フォーラム(3/14)会議参加募集中。 http://www.sparj.com/WAcnt/UAV3D2019page1to3.html</p>
No.3	2019/1/18	<p>1.SparView Vol.17 No.3 1) 点群とCADとAR/VRの融合が、いよいよ本格的になってきた。 ワークフローが大幅に短縮。BIM+VRもその一例 2)レンヂキュラーによる立体視がテレビに。 古い技術だが、8Kの登場でテレビで可能に 3)FAA(米国連邦航空局)が視界外飛行許可:大きな節目。 4)DJIドローンで視界外飛行、ASTMテスト合格、FAA認可 DJI大喜び 5)ブレイン・コンピュータインターフェース(BCI) 考えるだけでコンピュータ操作。夢物語が一步前進 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewVol17(03)BvlosOK.pdf</p> <p>2.UAV 3D活用フォーラム(3/14)講演概要確定 参加募集 http://www.sparj.com/JapanDrone/2019/UAV3D2019a.pdf</p> <p>3.近津博文先生、退官記念講演(3/9) 写真測量学会とARIDA研究会会長としてご指導いただきました。 http://www.sparj.com/event/ChikatsuFinalLecture.pdf</p>
No.2	2019/1/11	<p>1.SparView Vol.17 No.2 1)ロンドンヒースロー空港で、またしてもドローンで混乱 日本では、まだこうしたトラブルない。ルールを守る国民性? 2)ドローン・ホラー映画製作 連続殺人事件 作りごととは言えない。対応策を考えておくべき 3)iPhone Xでボリューム高精度計測が可能に iPhoneますます高機能に 4)フーシー爆弾ドローンでイエメン軍事パレード兵士6人死亡 恐れていたことが現実に http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewVol17(02)DroneFear.pdf</p> <p>2.SPARJウェブアクセス統計 http://www.sparj.com/WebAccess/WebPageAccessRank201901.pdf 1)先月SparView 読者急増 毎回1.5~4万 2)昨年1年間で250万でした。</p>
No.1	2019/1/4	<p>SparView Vol.17 No.1 明けましておめでとうございます。 SparViewの配信も17年目に入りました、 本年もよろしくお祈りします。</p> <p>1)キーパーソン3人による2019年予測 2)Matterport ARでマイクロソフト、グーグルなども統合 実務に役立つAR(拡張現実augmented reality)が さらに身近になってきました。 3)ドローンによるサーマル画像で地雷検出 素晴らしいアイデアです。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(17)/SparViewVol17(01)2019predict.pdf</p>